

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

5

May 2021
Vol.312

熊谷ラグビー場
Kumagaya Rugby Stadium

【特集】
佐沼、
聖地に
立つ



【ときめき人】
南方町松葉老人クラブ

【ズームアップ】
千葉美沙希さん、渥美圭太郎さん





1ディフェンスを振り切り、ゴールを目指して駆ける2試合開始直前、円陣を組んで気合を入れる3聖地に掲げられた佐沼高横断幕4強豪にも臆せず、タックルに挑む5佐沼高として大会初のトライ。チームの歴史に新たな記録を刻んだ6試合開始前、気合の入った表情でグラウンドを見つめる選手たち。マスクはOBなどの奇贈により作成したオリジナル7少ないチャンスを生かすため、パスをつなぎ得点を狙う8ハーフタイム。監督の指導を真剣な表情で聞く選手たち



特集 佐沼、聖地に立つ 1部

3月25日から31日までの日程で開かれた「第22回全国高校選抜ラグビー大会」(日本ラグビー協会主催)に佐沼高ラグビー部が初出場。27、28の両日に開かれた「第32回全国高等学校選抜ポート大会」には同高ポート部が女子舵手付クォドルプルの部で6年ぶりに出場した。
1部では熊谷ラグビー場で奮闘した彼らの、2部では浜松市天竜ポート場で奮闘した彼女らの軌跡を追う。



3月9日。佐沼高ラグビー部に吉報が届く。「第22回全国高校ラグビー選抜大会」へ、学校として初の出場が決まった。

佐沼高ラグビー部は、大阪府の花園ラグビー場で例年開かれている「全国高等学校ラグビーフットボール大会」へ5度目の出場経験があるものの、近年は1991年度に開催された第71回大会を最後に、全国の舞台からは遠ざかっていた。

しかし、昨秋開催された第100回大会予選で快進撃を続け、決勝の舞台まで駆け上がる。花園常連校の仙台育英学園高に敗れるも、各県2位の学校で記念大会杯を争った東北大会に出場。準決勝では、岩手県の黒沢尻北高とスコア7対7の接戦を演じる。抽選により惜しくも決勝へは進めなかったが、強豪校との熱戦が評価され、実行委員会推薦枠により埼玉県熊谷市で開催される選抜大会への出場が決まった。

初戦の相手は、過去21大会中12回もの出場を誇る大阪府・常翔学園。2月に開催された強豪ひしめく近畿大会でも優勝を果たした真正正銘の強豪との対戦が決まった。

大会前、熊谷市長を訪れた千葉響主将は「新チームになって初の公式戦で強豪との対戦。驚きはあるが、地域の人たちからの応援を背に、最後まで諦めず戦う」と力強く宣言した。

3年生を中心に、機動力が武器だった昨年のチームに対し、新チームは100キロ超を5人そろえた重量フォワードが武器。強豪との対戦を控え、総合力で劣る佐沼は重量フォワードを中心にディフェンスの強化に取り掛かる。15人全員で守り切るプレーで、相手のミスを誘う作戦に出た。

千葉主将は「厳しい試合になることは全員が予想していた。雰囲気は飲まれることなくどんどん声を出し、相手にプレッシャーを与えていくことを再確認した」と試合前の心境を語る。

試合開始を待ち、整列するメンバーの顔に迷いの色は見えない。試合が始まると、予想していた通り佐沼高自陣でのプレイ時間が長くなる厳しい展開。

「フィジカルが強く、速さ、上手さにおいても想像していた以上だった」と振り返る千葉主将。

0対43で前半を折り返す

感謝の思いを胸に



No.	氏名	出身中学	No.	氏名	出身中学
1	佐藤 圭人	豊里	13	久光 雄大	新田
2	飯塚 智也	佐沼	14	阿部 智希	佐沼
3	高橋 海王	古川学園	15	高橋 亮太	南方
4	佐々木 亮太	南方	16	後藤 薫	新田
5	五嶋 太陽	佐沼	17	河原 拓未	佐沼
6	佐々木 瑛大	南方	18	渡邊 涼太	佐沼
7	千葉 響	佐沼	19	渡邊 諒	南方
8	相澤 洸人	南方	20	千葉 猛斗	中田
9	星 海里	新田	21	高橋 温悟	南方
10	遠藤 悟	佐沼	22	三浦 慶悟	佐沼
11	細浦 大和	佐沼	23	浅野 英介	佐沼
12	石川 太地	佐沼	24	太田 匠	南方

も、試合終了まで自分たちのラグビーを続けるという信念は変わらない。自らのミスから点を取られている部分の修正と、前半同様最後まで相手よりも声を出し続けることを確認し合う。

後半、開始10分で2トライを奪われるも、佐沼高の集中力は途切れない。後半13分、ゴール前で相手のファールを誘うと、一瞬の隙を突き、サインプレーで相手ゴールへボールをねじ込む。聖地熊谷ラグビー場で初のトライ。佐沼高ラグビー部の歴史にまたひとつ新たな記録が刻まれた。

その後もゴールこそ奪えないまでも、常翔学園に思い通りのプレーをさせず、後半は7対17。佐沼高の初陣は試合スコア7対60で幕を閉じた。

翌日は、初日に敗退したチーム同士の試合が実施される。初日を終えた部員らは、全国の舞台で何が通用し、何が通用しなかったのかを確認し合う。二日目の相手は沖縄県の読谷高校。佐沼高と同じく実行委員会推薦枠で初出場したチームだった。応援してくれている人たちのためにも勝って地元に戻りたい。チームは勝利に向けて士気を高め合った。

しかし、試合が始まると佐沼高の動きが重い。

「初日はチャレンジャーとして試合に集中できたが、二日目は勝たないといけないというプレッシャーもあって硬くなってしまった」と話す通り、試合序盤から攻め込まれる時間が続く。試合終了間際、トライを決め反撃を見せるも、7対29で敗退。聖地を後にした。

顧問の白鳥直人先生は「全国レベルの速さや強さを体験でき、選手にとっても私にとっても良い経験になった。今までもこれからも目標は仙台育英に勝つこと。夏はその目標を達成して花園の舞台に立ちたい」と前を向く。

千葉主将は「OBをはじめ、多くの方々から寄付をいただいたと聞き、地元の皆さんにすごく支えてもらっていると感じた。その期待に応えられよう今後もチーム一丸となって練習に励みたい」と感謝の言葉を述べる。今後の目標については「花園出場」と力強く宣言した。

春からは、夏の花園予選に向けて一から練習に励む佐沼高ラグビー部。全国の舞台を経験して一回り成長した彼らの、新たなトライが始まった。

Crews Introduction

※()内、ポジション



Fujiwara Rena
富士原 玲那
(コックス)



Ueno Ari
上野 有里
(ストローク)



Sugawara Saya
菅原 紗弥
(3番)



Nitta Tomoka
新田 朋華
(2番)



Abe Yuka
阿部 佑香
(バウ)



1 聖地、天竜ボート場で全力を出し切った佐沼高ボート部。最後まで手を抜くことなく清
ぎ続けた2 出艇直後。コックスは感染対策の
ためマスクを着用3 順位決定戦直前、リラッ
クスした表情で顧問の井上先生と作戦を確認
する4 リギング(艇のセッティング作業)
が終わり出艇へ。当日は天候に恵まれた中での
レースとなった5 6 スタッフ総出のリギング
作業。ミリ単位での調整が必要となる

「全国への挑戦と 今後への経験」

「第32回全国高等学校選抜ボート大会」は3月25、26の両日、浜松市天竜ボート場で開かれ、佐沼高ボート部が女子舵手付クォドルプルの部に東北代表として出場した。

昨年10月の東北選抜大会で優勝し、本大会への出場を決めていた佐沼高。1000メートルのレースだった東北大会に対し、毎年選抜大会が開かれる浜松市天竜ボート場は倍の2000メートルで競われる。東北大会終了後から長距離に対応するため、オールを漕ぐペースの変更や体力づくりに精を出した。

全国大会は、新型コロナウイルス拡大防止のため開催自体が危ぶまれたものの、3月上旬に無観客での開催が決定。しかし、大会直前の3月21日、東海から東北に掛けて降った大雨の影響で、天竜ボート場のコース設備が被災。大会本部は短期間での復旧作業に追われた。レースができる程度に復旧はしたものの、3日間を予定していた大会日程を2日間に短縮し、試合前に予定されていた公式練習は中止に。レース距離も、2000メートルから1000メートルへ変更された。

「秋から練習してきた長い距離でレースができなくなり不安はあったが、全てのチームが同じ状況。早く気持ちを切り替えて、自分たちにとってはプラスと考えるようにした」と話す主将の上野有里。

大会前日に視察に会場を訪れた佐沼高は、違和感を感じた。コースを

6レーンに分け、レース中の目印になるはずのブイの間隔が広い。長沼ボート場は10メートル置きに、天竜ボート場も通常は25メートル置きに設置されていたブイが、大雨の影響で250メートル隔でしか設置されていなかった。

「コースに対して真つすぐ進んでいるかが分かりづらく、舵の操作がいつもよりも難しかった」と、舵取り役であるコックスの富士原玲那が振り返る通り、大会中は、コースアウトする艇が続出。審判艇からは何度も警告音が鳴り響いた。

そんな中、レースに向けて準備を始めた佐沼高。自分の体のサイズに合わせ、艇に金具を取り付ける「リギング」の作業に手こずり、他校の艇より遅れて出航する。その分予定していたアップの時間が足りなくなり、体が温まっていないうちでレーススタートを迎えた。

「緊張と焦りが出てしまった」と上野が話す通り、予選レースが始まるもクルーの動きが合わず、艇のバランスが取れない。他より遅れをとったまま500メートルを過ぎたとき、審判艇の警告音が鳴り、レース中断を告げる赤旗が上がった。1レーンを走っていた他校の艇が隣の艇に接触。レースは約1時間後に再スタートすることとなった。

相次ぐトラブルも、アップが足りていなかった佐沼高にとっては追い風に。再レースは、先ほどのレースとは打って変わって好調な滑り出し

を見せる佐沼高。全国の強豪相手に500メートル付近まで競った展開を見せる。後半ペースを上げた強豪校に徐々に離されるも、最後まで自分たちのペースを貫き、グループ3位に食い込む。決勝は逃したものの、翌日の順位決定戦へと駒を進めた。

翌日は、一番端6レーンでのレース。軽快なスタートを切り、順調に走っていたものの、なぜか周りの艇から少しずつ離されていく。一番端のレーンだった佐沼高だが、気付くと更に一つ外のレーンを走っていた。途中で気付いた富士原が修正を試みるも、コースを大回りしてしまった佐沼高の艇は6番目でゴールラインを通過した。

顧問の井上裕市先生は「初めて出た全国の舞台で堂々としたレースだった。冬場になかなか練習ができない東北のチームとして、選抜で順位決定戦に残ったのは立派」と選手たちをねぎらうと、「親の会からの手厚いバックアップや練習施設のスナップなど多くの人に支えられていると感じている。佐沼は、男子も良い感じに仕上がってきてるので、夏は男女での全国大会出場を目指し、結果で感謝を伝えられれば」と次の大会への目標を続けた。

上野は「インターハイへの出場が今の目標」と決意を新たにしている。

夏の宮城県予選の舞台は長沼ボート場。地元の声援を背に、再び全国の舞台へ駆け上がる。

第32回全国高等学校選抜ボート大会
女子舵手付クォドルプル 12位

佐沼高 ボート部



県警本部長から賛辞

交通死亡事故ゼロ6カ月

「宮城県警察本部長賛辞の贈呈」は3月24日、迫庁舎で行われ、熊谷康登米警察署長から熊谷市長に賛辞が贈呈されました。

市内では昨年9月24日以降交通死亡事故ゼロを継続。3月24日で交通死亡事故ゼロ6カ月を達成しました。熊谷市長は「達成できたのは市民の交通安全への意識はもとより、地域コミュニティや関係団体の努力のたまもの。交通死亡事故は、被害者だけでなく加害者も不幸にする。賛辞を励みに交通事故を無くす活動を続け、交通死亡事故ゼロを継続していきたい」と決意を新たにしました。



今年、県内で発生した交通死亡事故は被害者の7割が高齢者。今後も関係機関が協力して交通事故の根絶を目指します。

教えてペッパー先生

人型ロボから防災を学ぶ

ソフトバンクロボティクスの人型AIロボット「Pepper」が講師を務める「防災教室」は3月3日、浅水小学校で開かれ、5年の児童14人がペッパーから地震発生時の心構えなどについて学びました。

本市とソフトバンクは、2018年11月に農業、教育、健康増進や観光などの分野でICT(情報通信技術)やAI(人工知能)を活用し、地方創生につなげるための連携協定を締結しており、その一環として防災教室を実施。山内遼平君は「地震が起こったときに危険から身を守るための大事なことをペッパー先生から教えてもらいました。地震のときに実践したい」と話していました。



身振り手振りを交えて地震発生時に潜む危険や回避方法などを話すペッパー先生の授業に、児童は真剣に聞き入っていました。

幼児教育の環境整備 豊里・石越でこども園開園



左:石越にじいろこども園は高い利便性と木質を生かした感性の育ちをテーマに、最新式の設備を備え、園生活で木に触れる機会を重視したデザイン。子育て家庭の相互交流や育児相談も応じます。中、右:豊里こども園は登米市産木材を多く取り入れた、ぬくもりのある造りで、保育室を南面に配置することにより、日光を浴びながら明るい環境で保育が受けられるよう配慮しています。

「登米市豊里こども園開園式」が3月13日、「石越にじいろこども園開園落成式」は3月19日、各施設で開かれました。

市では、より良い子育て環境づくりに取り組むため「登米市子ども・子育て支援事業計画」を策定。計画に基づき、幼稚園・保育所の機能を一体的に提供する認定こども園の整備を推進しています。幼稚園・保育所の再編と併せたこども園の整備により、利便性の向上と安心して子育てできる環境が整います。

豊里こども園は、豊里幼稚園・保育園を再編統合。定員210人(幼稚園機能60人、保育所機能150人)の市初の公設公営認定こども園です。開園式に出席した

熊谷市長は「幼児期は人格形成の基礎を培う大切な時期であり、その後の小中教育につながる大変重要な役割を担うもの。子どもの個性に合わせた育ちとなるよう、今後も教育・保育の質の向上を図っていきたい」と話しました。

石越にじいろこども園(社会福祉法人未来、伊藤良雄理事長)は、石越幼稚園・保育所を再編統合した民設民営のこども園で、定員120人(幼稚園機能40人、保育所機能80人)。開園落成式では、伊藤理事長が「石越保育所・幼稚園の軌跡を受け継ぎ、石越の自然の中、登米市産木材をふんだんに使用したこの施設で、地域の皆さまと共に歩んでいきたい」と話しました。

震災を風化させない

3.11各地で黙とう捧げる

3月11日、東日本大震災から10年を迎えました。「東日本大震災南三陸町追悼式」は同日、南三陸町総合体育館で行われ、熊谷盛廣市長など800人が、気仙沼市総合体育館で行われた「気仙沼市東日本大震災追悼式」には、渡邊誠副市長など817人がそれぞれ参列。哀悼の意を表し、被災者に献花と黙とうを捧げました。

2011年3月11日午後2時46分に発生した地震により、30人の登米市民が亡くなったほか現在も3人が行方不明。負傷者は52人に及びました。建物被害は全壊201棟、大規模半壊441棟、半壊が1360棟。市では、震災を忘れず、今後も防災に取り組んでいきます。



各追悼式は犠牲者の冥福を祈るとともに復興完遂を誓うため、震災後毎年執り行われています。

探検みやぎの明治村

親子の目線でプラン検証

「『みやぎの明治村』ファミリープログラムモニターツアー」は3月21日、登米町内で開かれ、12人が参加しました。

市と東北工業大学は、登米町の観光誘客に向けて、歴史が残る町並みや建物を学ぶ親子向け学習プログラムを共同で開発。学習プログラムを利用した観光誘客の手法を検討するためモニターツアーを実施しました。参加した只野海吏君(11)＝登米町鉄東＝は「武士の家の特徴や登米町の建物に外国の技術が使われていることを知りました。渡された探検カードの問題を友達と解くのが楽しかった」と満足げに話していました。



ツアーは登米懐古館や教育資料館などを見学。参加者からは「資料がシールで隠れない工夫を」などの意見が出されました。

Information

01

市内で暮らす新婚さんを応援します



新婚世帯に対して、住宅の購入費用、賃貸住宅の契約に係る費用、引っ越しの際に要した費用などを支援します。

【対象要件】令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に婚姻届を受理され、次の全てを満たした夫婦①申請日に、夫婦いずれも市内の取得または賃借した住宅へ居住し、住民基本台帳に記載されている②今後、市内に居住する意思がある③婚姻届受理日における夫婦いずれかの年齢が49歳以下である④夫婦のいずれも、過去にこの制度に基づき補助金の交付を受けたことがない⑤同居取得の場合、市住まいサポート事業補助金の交付を受けないこと⑥夫婦が市税(市外から転入している場合は、転入前の市町村税)の滞納がない

【対象経費】
▼住宅取得費用①婚姻を機に新たに市内で住宅を取得する際に要した費用/新築費用、建売住宅や中古住宅の購入費用
▼住宅賃借費用②婚姻を機に新たに住宅を賃借する際に要した費用/3カ月分の家賃・共益費、敷金、礼金、仲介手数料
▼引っ越し費用③引っ越し業者または運送業者へ支払った費用

【補助金額】対象経費を合計した額(夫婦につき最大30万円)
※申請に必要な書類など詳しい内容については、事前に問い合わせください
【申請・問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(子育て支援係)
☎0220(58)5562

Information

02

自分らしく、このまちで移住・定住をサポート

【住まいサポート事業補助金】
移住・定住するため、市内に住宅を新築または購入した人に助成します。建て替えや住み替えは対象外です。

【対象者】
▼世帯区分Ⅰ 申請者および配偶者が40歳未満の世帯
▼世帯区分Ⅱ 申請者または配偶者が40歳未満の世帯
▼世帯区分Ⅲ 世帯区分Ⅰ、Ⅱに該当しない世帯
【補助金額】
▼世帯区分Ⅰ 上限額50万円

Information

03

第3子以降が小学校に入学した保護者に入学祝金を支給

【対象】5月1日時点で市内に住所を置き、本年4月に第3子以降が小学校に入学した保護者
【支給金額】1人につき3万円
【申請方法】4月中旬に、申請書と支給要綱などを小学校を通して配布します。支給対象となる場合は、申請書などに必要事項を記入し、5月24日(月)までに小学校へ提出ください
【決定通知】申請書の内容を確認し、後日、結果を通知します
【その他】第3子以降が小学校に入学しても、該当しない場合もあります。支給要件などの詳細については、支給要綱

【住まいサポート事業補助金】(中古の場合、25万円)
▼世帯区分Ⅱ 上限額35万円(中古の場合、17万5千円)
▼世帯区分Ⅲ 上限額25万円(中古の場合、12万5千円)
【加算額】
▼市内業者が施工した場合 10万円
▼中学生以下の子どもがいる場合 1人につき5万円
【申請期間】住宅を取得してから6カ月以内
■空き家情報バンク事業
市内の賃貸、売却可能な空き家の情報を募集しています。物件情報の提供および利用を希望する場合は、問い合わせください。
■空き家改修事業補助金
空き家情報バンクを活用して空き家を改修する人に、対象経費の2分の1(上限額50万円)を助成します。
【共通事項】
補助金の申請額の総額が予算額に達した場合は、受け付けを終了します。
【申請・問い合わせ】まちづくり推進部観光シティプロモーション課(ふるさと定住係)
☎0220(23)7331
※詳細は、市公式ホームページに掲載しています

Information 04

地域経済の担い手 中小企業・小規模企業をみんなでも応援

中小企業・小規模企業振興基本条例を4月1日に施行

市内には約4千の企業がありますが、そのうちの約99%を中小企業・小規模企業が占めています。中小企業・小規模企業は、市の経済を牽引し、地域の雇用を支える、地域社会において重要な存在です。これを踏まえ、中小企業・小規模企業の振興に向けた取り組みなどを定めた「登米市中小企業・小規模企業振興基本条例」を施行しました。

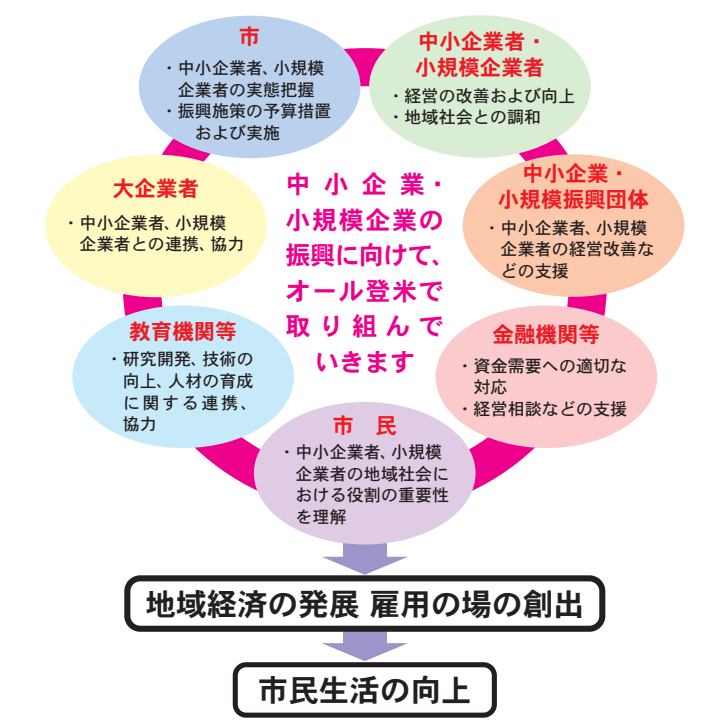
条例が目指すもの

中小企業・小規模企業を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化といった社会構造の変化に加え、産業構造の変化、さらには消費者ニーズの多様化など、経営環境の変化に伴い、厳しい状況が続いています。また、新型コロナウイルス感染症による影響を受けるなど、困難な事態に直面しています。

そのような中、中小企業・小規模企業が成長・発展していくためには、自らが努力することはもちろん、市や大企業、教育機関、金融機関などや市民の皆さんが一丸となり、「オール登米」で施策を総合的に推進していくことが大切になります。本条例は、中小企業・小規模企業の振興に向けた基本理念などを明らかにし、地域経済の発展や雇用の場を創出する

ことで地域社会の活性化や市民生活の向上を目指しています。また、その実現に向け、市の責務、中小企業・小規模企業の努力すべきことなどを定めています。今後は、条例に基づき中小企業・小規模企業の振興に関する施策の実現に向けて取り組んでいきます。

登米市中小企業・小規模企業振興基本条例イメージ



条例のポイント

基本理念【第3条】

中小企業者及び小規模企業者の自主的な努力と創意工夫を前提として、中小企業・小規模企業の振興が推進されるべきであることを明らかにし、関係者が一体となり、市の魅力を創造しながら、中小企業・小規模企業の振興を推進することを規定しています。

市の責務【第4条】

中小企業・小規模企業の振興を推進するために、その重要性を認識した上で、事業の実施に必要な予算の確保に努めることなど市が担っていく責務について規定しています。

中小企業者及び小規模企業者の努力【第5条】

中小企業者及び小規模企業者は、経済環境の変化に即応するために、自主的に経営の改善等に努め、安心して暮らしやすい地域社会の実現を意識し、事業活動を行うよう努めることを規定しています。

市民の理解及び協力【第10条】

中小企業・小規模企業が成長発展することによって、雇用が創出され、地域社会が活性化し、市民生活も向上するという好循環を生み出し、結果として豊かで住みよいまちの実現へとつながることを理解いただくことを規定しています。

施策の基本方針【第11条】

市が総合的に推進すべき中小企業・小規模企業の振興に関する基本方針を規定しています。地域の強みである人材や技術力等の地域資源の活用、販路の開拓及び資金調達の円滑化による経営基盤の強化等の促進、関係者の相互連携の推進による事業承継等の課題の解決を図ることなどを規定しています。

小規模企業者の特性に応じた支援【第12条】

経営資源の確保が困難であることが多い小規模企業者に配慮し、経営規模を勘案しながら、施策を実施することを規定しています。



5月の献血日程

1日(土)
▶イオンタウン佐沼
10:00 ~ 11:45
13:00 ~ 16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(保健推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
誰にも言えない気持ち
聞かせてください。
☎ 022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎ 0229(23)0024

子ども夜間安心コール
●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内
休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

【申込方法】5月10日(月)まで電話で申し込みください
【初回講座】
【日時】5月20日(木)午後1時30分~2時30分
【場所】市役所南方庁舎
※2回目以降は町域ごとに開催します

【問い合わせ】
▼市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎ 0220(58)2116
▼各総合支所市民課(健康づくり係)

5月のこころの相談	
日	場所・受付時間・担当
7日(金)	登米総合支所 13:30~15:30 医師
18日(火)	米山総合支所 10:00~14:00 臨床心理士・公認心理士
20日(水)	迫保健センター 13:30~15:30 医師
21日(金)	中田保健福祉会館 13:30~15:30 精神保健福祉士・臨床心理士
精神科の医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、お住まいの総合支所まで申し込みください。 迫総合支所 ☎0220(22)5554 登米総合支所 ☎0220(52)5054 東和総合支所 ☎0220(53)4113 中田総合支所 ☎0220(34)2311 豊里総合支所 ☎0225(76)4113 米山総合支所 ☎0220(55)2112 石越総合支所 ☎0228(34)2113 南方総合支所 ☎0220(58)2113 津山総合支所 ☎0225(68)3114	
登米市民病院小児科救急診療	
●日曜日:受付時間9:00~16:30 ●夜間:小児(6歳以上)の診察を希望する場合はご連絡ください 【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511	

【対象者】市内在住の20歳以上の人(20人程度)
【講座内容】健康づくり講話、体験(生活習慣病予防、高齢者低栄養予防など)
【受講料】無料
【申込方法】5月10日(月)まで電話で申し込みください
【初回講座】
【日時】5月20日(木)午後1時30分~2時30分
【場所】市役所南方庁舎
※2回目以降は町域ごとに開催します

【申し込み・問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎ 0220(58)2116
【産後や子育てのことなど気軽に話してみませんか】
子育てに関わる皆さんが安心して過ごせるように、子育て世代包括支援センター事業を開始し、応援体制を拡充しました。お子さんの成長に応じた支援を展開していきます。生活が大きく変わる妊娠から出産、育児についてのさまざまな「迷った」や「心配」など、保健師、助産師、栄養士と一緒に考えていきますので、気軽に相談ください。

5月の休日当番医		
日	休日急患当番医	歯科休日当番医
2日(日)	わたなべ内科クリニック(迫町) ☎0220(21)5335	浅野歯科医院(南方町) ☎0220(29)6036
3日(祝)	おおともクリニック(津山町) ☎0225(68)3210	まつお歯科医院(迫町) ☎0220(28)2311
4日(祝)	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	東和歯科医院(東和町) ☎0220(53)3811
5日(祝)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	登米歯科診療所(登米町) ☎0220(52)3420
9日(日)	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	登米中田佐藤歯科クリニック(中田町) ☎0220(34)4888
16日(日)	佐藤内科医院(迫町) ☎0220(22)2160	グリーンヒルズデンタルクリニック(中田町) ☎0220(44)4611
23日(日)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎0220(22)6508	ゆうじろう歯科クリニック(中田町) ☎0220(23)8785
30日(日)	小出医院(登米町) ☎0220(52)2303	プレミアム歯科(南方町) ☎0220(23)2038
●診療時間 9:00~12:00, 13:30~17:00 【休日急患当番医】 ●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511 【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084 ※月~金曜日(休日を除く) 【歯科休日当番医】 【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116 ※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。		
石巻市夜間急患センター		
●診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで 診療時間など、詳しくは問い合わせください。 【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内) ☎0225(94)5111		

Information 08

地震に備える

耐震改修助成事業をご利用ください

地震は、いつ起こるか予測できませんが、備えることで被害を少なくすることができます。市では、木造住宅の耐震診断、耐震改修などの助成事業を実施しています。助成事業の件数には限りがありますので、早めに申し込みください。



市が助成する耐震改修事業

区分	木造住宅		地域集会施設		ブロック塀などの撤去	生垣などの設置
	耐震診断	耐震改修	耐震診断	耐震改修		
事業内容	専門家による木造住宅の耐震診断に対し、その費用の一部を補助します	壁や基礎の補強、腐食部分の改修などを行うことにより、地震に対する安全性を高める工事に対し、費用の一部を補助します	専門家による地域集会施設の耐震診断に対し、その費用の一部を補助します	壁や基礎の補強、腐食部分の改修などを行うことにより、地震に対する安全性を高める工事に対し、費用の一部を補助します	倒壊の恐れがある危険なブロック塀などを取り壊す場合、その費用の一部を補助します	危険なブロック塀などの撤去に伴い、新たに塀を設置する場合、その費用の一部を補助します
補助対象	下記の全てに該当する住宅 ①昭和56年5月31日以前に着工した戸建て住宅 ②木造平屋建てから木造3階建てまでの住宅 ③過去に市の耐震診断を受けていない住宅	市の耐震診断助成事業実施要綱に基づき、耐震改修計画を策定した住宅、もしくは今後受ける耐震診断の構造評点が1.0未満の住宅 改修工事完了後の構造評点が1.0以上になる住宅	下記の全てに該当する施設 ①昭和56年5月31日以前に着工した地域集会施設 ②木造平屋建てから木造3階建てまでの地域集会施設 ③過去に市の耐震診断の助成を受けていない地域集会施設	市の耐震診断助成事業補助金交付要綱に基づき、耐震改修計画を策定した地域集会施設、もしくは今後受ける耐震診断の構造評点が1.0未満の地域集会施設で、改修工事完了後の構造評点が1.0以上になる地域集会施設(構造評点が0.7未満の場合、建て替えも可能)	①公共用道路などの路面からの高さが1m以上(擁壁上の場合は60cm以上) ②平成14年度以降の実態調査、または今後の実態調査で「D・E」判定のもの ③一部撤去の場合は、路面からの高さを50cm以下に改修する場合	①危険なブロック塀などの撤去跡地への軽量な塀の設置工事 ②高さ1m以上の苗木を50cm以下の間隔で植栽 ③高さ60cm以上のフェンスや板塀の設置
助成内容	市負担額=14万2400円 個人負担額=8400円(200平方m以下)~3万9800円(340平方mを超える) ※住宅の延べ床面積によって異なります	上限=85万円 補助率:対象経費の25分の17 工事内容により、次の加算制度があります ①10万円以上のリフォーム工事を同時に実施する場合=25万円を上限に加算 ②リフォーム工事をしない場合=15万円を上限に加算	上限=16万5600円 補助率:対象経費の3分の2	上限=66万6千円 補助率:対象経費の3分の2	補助額=4千円/平方m 上限=15万円 補助率:対象経費の3分の2 ※隣家との境界や道路に面していないブロック塀などは対象外になります	補助額=4千円/平方m 上限=10万円 補助率:対象経費の3分の2
助成件数	6件	3件	1件	1件	11件	11件
申込期限	令和3年12月15日(水)					
備考	申請前に工事などに着手(契約含む)すると、助成の対象外になります。工業者と契約する前に相談ください					
問い合わせ	建設部住宅都市整備課(建築係) ☎0220(34)2316					

※建物の規模や改修内容などの状況により、助成金額や個人負担額が違う場合があります。※各事業とも年度ごとの事業になります。申請時期により制約などがある場合もありますので事前に相談ください



豊里

着ぐるみで交通安全呼び掛け

「春の交通安全キャンペーン『着ぐるみ作戦』(豊里地区交通安全推進会議主催)は4月8日、JAみやぎ登米豊里支店前の県道交差点で実施されました。着ぐるみ作戦は、毎年春の全国交通安全運動期間中に実施されており、着ぐるみの街頭指導が恒例。この春も、サルトラ・パンダの着ぐるみが信号で停止したドライバーや登校する児童・生徒らの注目を集めながら、交通事故ゼロを目指して交通安全を呼び掛けました。

ジャガイモ早く大きくなって

「よねやま保育園ジャガイモ植え」は3月24日、よねやま保育園(佐久間あけみ園長、園児114人)園庭内の畑で開かれ、4・5歳児50人が参加しました。当日は、園児たちの元気な「おはようございます、よろしくお祈りします」の挨拶で作業を開始。学校支援ボランティアがうね立てしたふかふかの畑に、大きく育つよう願いを込めた種イモを植えました。畑には他の野菜も植える予定で、給食の食材にしたり、秋には焼き芋会や収穫祭をします。



米山

石越幼稚園に響いた閉園の歌

「石越幼稚園修了式および閉園式」は3月17日、石越幼稚園で行われ、修了児14人と保護者が出席しました。園児は修了証書授与後、見守る保護者を前に元気な声で一人一人別れの言葉を発表しました。閉園式では園児が保護者とともに石越幼稚園の園歌を合唱。晴れ晴れしい声が会場内に響き渡りました。式の最後は園児、保護者、幼稚園職員で集合写真を撮影。昭和44年の開園から50年以上続いた歴史に幕が引かれました。



石越

地区住民が協力し堤防を保全

「令和2年度登米市南方地区堤防敷枯れ草焼却作業」(南方町河川愛護会主催、佐藤次夫会長)は3月7日、南方町内河川堤防敷で実施され、地区住民約330人が参加しました。南方町河川愛護会では、堤防敷周辺の環境保全作業を毎年実施しています。今年は参加者の密集を避け、ごみ拾いや火の取り扱いに注意しながら枯れ草を焼却。作業を通じて、堤防法面のクラックの有無や陥没、法崩れが無いかなど安全を確認しました。



南方

オリジナル観光ガイドを作成

「津山町めぐりマップ」は、津山地区にオリジナルの観光ガイドが無いことから、津山地域振興会(堀田耕平会長)が中心となり、地域の見どころを掲載したリーフレットとして作成されました。マップは、イラストレーターの秋山清人さん=中田町川面=の優しく心むイラストを使用し、史跡名所や町を歩く際の食事処を紹介。マップは津山総合支所や市内各公民館、もくもくランドで閲覧できます。



津山

今年一年の火災ゼロを願って

「令和3年中田支団初午行事無火災祈願」は3月7日、石森安永寺、宝江諏訪神社、上沼八幡神社、浅水長谷寺でそれぞれ執り行われ、登米市消防団中田支団から18人が参加しました。無火災祈願は、五穀豊穡や災いの厄払いを祈願する初午の日にちなみ、消防団が地域の無火災を祈願する行事で、今年は新型コロナ感染防止のため規模を縮小して実施。参加者は地域の一年間の安全を祈願しました。



中田

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

皆の思いを込めた名板が完成

「橋名板の感謝状贈呈式」は3月1日、新田小学校(菅原弘倫校長、児童129人)で行われ、県東部土木事務所登米地域事務所の本郷雅俊所長から感謝状が贈られました。みやぎ県北高速幹線道路の迫町北方地内にある新大瀬橋に、今回6年20人が文字を書いた「新大瀬橋」、「しんおおせばし」、「長沼川」、「令和3年6月完成」の橋名板が設置されます。式では、丁寧に思いを込めて書いた文字が名板になり、皆が笑顔を見せていました。

交通死亡事故ゼロ千日を達成

「寺池地区コミュニティ交通死亡事故抑止功労表彰」は3月15日、登米総合支所で行われ、登米市交通安全対策協議会から寺池地区コミュニティ運営協議会(阿部さち子会長)へ褒状が贈られました。同地区は、平成30年6月17日から交通死亡事故ゼロを継続し、12日で交通死亡事故ゼロ千日を達成しました。阿部会長は「今後も交通安全に取り組んでいきたい」と意気込みを話しました。



登米

東日本大震災を振り返り学ぶ

「東日本大震災・震災遺構見学会」(米谷公民館主催)は3月12日、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(旧気仙沼向洋高校)で実施され、12人が参加しました。震災当時、米谷地区では沿岸部の避難者の受け入れや米谷工業高を気仙沼向洋高の仮校舎とするなど被災者を支援。会場で、語り部から被災状況や避難所での生活について説明を受け、いつ起きるか分からない災害への備えや心構えを改めて学んでいました。



東和

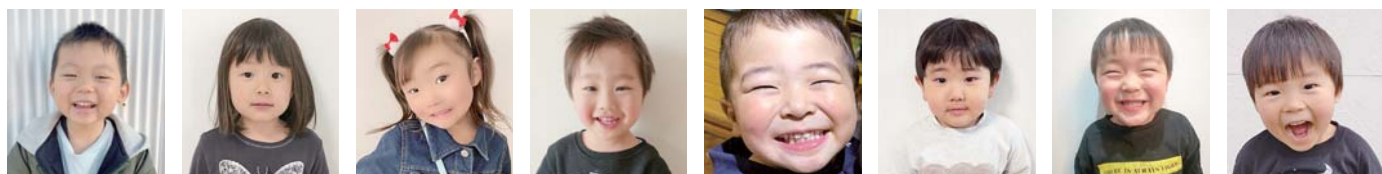
今年一年の火災ゼロを願って

「令和3年中田支団初午行事無火災祈願」は3月7日、石森安永寺、宝江諏訪神社、上沼八幡神社、浅水長谷寺でそれぞれ執り行われ、登米市消防団中田支団から18人が参加しました。無火災祈願は、五穀豊穡や災いの厄払いを祈願する初午の日にちなみ、消防団が地域の無火災を祈願する行事で、今年は新型コロナ感染防止のため規模を縮小して実施。参加者は地域の一年間の安全を祈願しました。



中田

3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



相澤 慎史くん (迫町茂葉) 石川 諒花ちゃん (迫町新田駅前) 熊谷 結愛ちゃん (迫町舟橋) 坂東 瑞希くん (迫町横丁) 渡辺 龍可くん (東町米谷9区) 五十嵐 蓮くん (中田町下道) 及川 絢士くん (中田町鐘) 大和田泰雅くん (中田町神ノ木)



千葉 咲那ちゃん (中田町野元) 舟嶋 心結ちゃん (中田町茶畑) 山口 菜花ちゃん (中田町下道) 金澤 環樹ちゃん (豊里町上町) 高橋 孝輔くん (豊里町新町) 高橋 和真くん (米山町八軒小路) 鮫名 菜帆ちゃん (南方町原) 大村 陽乃ちゃん (南方町北本郷)



千葉 結菜ちゃん (南方町柳沢)

3月中に応募があった子どもたちを掲載しています

いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳



千田 繁治さん

大正10年3月21日生まれ
(東和町・米川8区)

繁治さんは、さだ子さんと結婚し、稲作や炭焼きにいそしみながら、4人の子どもを育てました。できることは何でも率先して実行する繁治さん。現在は特別養護老人ホームに入所し、新聞を読んだり、家族から差し入れされたお菓子を食べたり、のんびりと過ごしています。これからの目標は「105歳まで生きること」です。

若柳町(現栗原市)生まれのつたをさんは20歳で石越町に住む叔母と養子縁組。24歳で夫さんと結婚し、5人の子宝に恵まれました。現在は、デイサービスで、みんなと会えることを楽しみにしています。長寿の秘訣は、なんでも食べ、よくよくしないこと。100歳のお祝い会では、集まった家族に「ありがとう」と感謝を伝えました。



熊谷 つたをさん

大正10年3月9日生まれ
(石越町・第四)



佐藤 セツ子さん

大正10年3月27日生まれ
(石越町・第七)

岩手県大東町(現一関市)で生まれ、小学校の教員をしていたセツ子さん。盛雄さんと結婚し、4人の子どもに恵まれました。キャラメルや練乳などの甘いものが大好きで、缶の練乳は切らしたことがないというほどの甘党です。現在は特別養護老人ホームで生活。長寿の秘訣は、よく働き、規則正しい生活を送ることです。

啓さんは岩手県花泉町(現一関市)出身。石越町で農業を営む勤一さんと結婚し、農業一筋の日々を過ごしました。長寿の秘訣は、よく食べ、よく寝て、よく笑うこと。最近の楽しみはひ孫との触れ合いです。啓さんは「まだまだ長生きして、世の中をたくさん見て、いつか天国の夫に教えてあげたい」と話していました。



齋藤 啓さん

大正10年3月27日生まれ
(石越町・声倉)

一般向け

子ども向け

PICKUP-04 「お寺のどうぶつ図鑑」



今井 淨圓／監修

ネコは商売繁盛、ウシは無病息災、ハマグリ、クジャク、カッパまで。仏教と動物の意外な関係やお寺の動物に隠された秘密と歴史、御利益などを解説。

PICKUP-05 「安全運転寿命を延ばすレッスン」



松田 秀士／著

還暦を過ぎても現役のプロレーサーで自動車評論家、僧侶の著者が、三つの視点から、高齢でも安全運転を続けるための対策や最新の安全技術を紹介。

PICKUP-06 「天を測る」



今野 敏／著

咸臨丸の太平洋横断、江戸湾海防計画、軍艦建造。論理力で欧米列強を圧倒し、近代日本の船出を支えた男がいた。知られざる幕末の英雄、小野友五郎の物語。

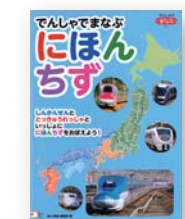
PICKUP-01 「季節のこども手芸 春」



C-R-K design／著

春の花や食べ物など季節が楽しめる手芸作品を紹介。切ったり貼ったりするだけでできる小物から、縫う技を使う作品まで、手芸作品の作り方が学べる一冊です。

PICKUP-02 「でんしゃでまなぶにほんちず」



「旅と鉄道」編集部／編

ひらがなで書かれたやさしい地図絵本。新幹線や特急列車の写真と一緒に、都道府県庁所在地や県の形、駅名を楽しく覚えることができます。

PICKUP-03 「なぞなぞのにわ」



石津 ちひろ／著、中上 あゆみ／絵

なぞなぞの答えは絵本の中に。季節ごとにさまざまな魅力を見せる庭の絵になぞなぞの答えが描き込まれています。答えを見つけ出して遊べる絵本です。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

「こどもの読書週間」にイベントを開催

登米図書館では、本に親しみをもちてもらえるよう、4月23日から5月12日までの「こどもの読書週間」に合わせ、さまざまなイベントを用意しています。

子ども向けの本は、大型絵本や紙芝居、雑誌などのほか、楽しく勉強できる本もあります。この機会に、お気に入りの本を見つけに図書館へお出ください。

【開催期間】4月23日(金)～5月12日(水)

※対象図書がなくなり次第終了

【時間】午前9時～午後5時

【場所】登米図書館

【問い合わせ】登米図書館 ☎0220(52)5330

【イベントの内容】

イベント名	対象	内容
お楽しみ袋の貸し出し	幼児～小学生	絵本や児童書を5冊セットで貸し出します。中身は、開けてみてのお楽しみ
おすすめの絵本紹介	幼児～一般	楽しく言葉を覚える、読み聞かせにぴったりの絵本を紹介。大人も一緒に楽しめます
手作りしおりプレゼント	幼児～小学生	図書館利用者に、手作りのしおりをプレゼント

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)

※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください

■問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書室 ☎0220(34)8081



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

齋藤 翔大君

さいとう・かける 新田小5年
迫町・菱の倉

頼りにされる自衛隊員に

僕の将来の夢は、自衛隊員になることです。

僕のおじいちゃんが前に自衛隊員として働いていて、当時のことを小さいころから聞いていました。

話を聞いているうちに、自衛隊として働くことがかっこいいと思ひ憧れを抱いたことが、自衛隊員になりたいと思ったきっかけです。

また、大きな地震が起きたときや大雨などの被害があったときに、困っている人たちの元へ駆けつけ、ヘリコプターから降りて救助したり、支援物資を届けたりする自衛隊員の様子をテレビで見て、僕もこんな風に、困っている人や助けを求めている人の力になりたいと考えるようになりました。

僕が自衛隊員になったら、おじいちゃんのようにかっこよくて、みんなから頼りにされる自衛隊員を目指していきたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



佐々木 咲菜ちゃん(2歳)・虹菜ちゃん(10カ月)

2018年12月2日・2020年6月10日生まれ
迫町・横丁 建人さんの長女・次女
おてんばで元気なお姉ちゃんとマイペースな妹。けんかすることもあります、仲良しの二人です。



大原 彩瑚ちゃん(3歳)

2018年4月9日生まれ
中田町・加賀野一 直人さんの次女
あなたはお父さんとお母さんの宝物です。のびのび大きくなってね。



松本 陸くん(2歳)

2018年5月8日生まれ
南方町・大門 勇さんの長男
歌うことや踊ることが大好きなりっくん。弟のいつきと仲良く元気に成長してね。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

菊 拓実さん(28)

きく・たくみ
豊里町・新町

★身長と血液型 174センチでB型です。

★現在は 美津乃寿司で料理人の父から指導を受けながら働いています。料理人を目指したきっかけは、もちろん父の影響もありますが、友人に料理を作ってあげたときに言われた「美味しい」という言葉がうれしかったからです。今までは地元を離れ、大阪や東京の飲食店で働いていましたが、生まれ育った場所で自分のお店を構えたいという思いが強くなり、登米市に戻ってきました。現在は、お店で一品料理やデザートを担当しています。今年中に全てのメニューを提供できるようになることが今の目標なので、休日も本や動画で日々勉強しています。

★自分の性格 友人からは明るい性格と言われることが多いです。会話をするときには、みんなが楽しい雰囲気になるように意識していますね。

★趣味は スケボーが好きで、よく近くの公園へ遊びに行っています。他には読書も好きで、最近は洪沢栄一のことについて書かれた本をよく読んでいますね。

★理想の女性像 愛嬌のある人がタイプで、一緒にキャンプなどに行ってみたいですね。

★今やってみたいこと 地元の皆さんに楽しんでいただけるように、お店の前で芋煮などをふるまってみたいです。

★登米市について一言 困っている人がいたら助けてあげられるような、誰もが一人にならない登米市になれば良いと考えています。個人でできることには限りがあるので、地域の人たちが世代を超えて関わりを持つ場があると良いですね。



～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付してください＜応募先＞まちづくり推進部まちづくり推進課広報係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





及川 衛さん (73)

ヤスコさん (74)

迫町・東表 1970(昭和45)年3月入籍

二人でのんびり温泉に行きたいね

★二人のなれ初めは 【衛】仲人さんにお世話してもらってお見合いだったね。 ★お互いの第一印象は 【ヤスコ】おとなしそうな人だと思ったよ。バイクで日和山へデートに行ったね。 【衛】恥ずかしくて顔もよく見れなかったから印象どころじゃなかったね。 ★結婚当時の思い出は 【衛】結婚の記念に買った新車で福島温泉へ新婚旅行に行ったのがいい思い出だね。 【ヤスコ】仕事に子育てに毎日忙しかったよ。仕事交替制だったから、学校行事はお父さんに任せっきりだったね。 ★現在の楽しみは 【ヤスコ】地域の人たちと集まっておいとこ踊りやレクダンスをするのが楽しいね。おいとこはお父さんが歌って、私が踊るんだよ。 ★夫婦円満のコツは 【ヤスコ】これ以上は抑えなきゃというところで、その一言を飲み込むことが大事。 【衛】教えたり教わったりするのが夫婦。お互い信頼し合うことだね。 ★これからしたいことは 【ヤスコ】孫やひ孫が遊びに来て一緒に過ごすが楽しみ。 【衛】今まで苦勞掛けたので、ゆつくり温泉に行きたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「北上川に育てられ」

私は豊里町上町で生まれ育ち、高卒で某カメラ会社に就職し、上京しました。憧れの東京でしたが、勤務地は茨城県の取手市でした。常磐線で上野駅から取手市までの時間がとても長く、東京からほとんど離れていくのが、悲しくなりました。仕事の関係で、茨城県で22年、宮崎県では9年家族と過ごしました。単身赴任を経てタイや中国へ長期出張。2年余りの海外生活を経験しました。定年後は茨城県に戻り、現在に至っています。 今まであちこちに行きましたが、やはり生まれ育った豊里町や石巻市の思い出は特別です。北上川が目の前に見える所に住んでいたため、夏休みは毎日のように川で泳いで

只野 誠喜さん(69)

在京豊里会 豊里町(川前)出身



遊んでいました。小学校低学年の頃は、堤防の坂で転がり、土や枯草を付けて遊び回ったことが懐かしく感じます。この経験が、石巻工業高校でラグビーを始めた動機の一つかも知れません。決勝で加美農高校に敗れ、念願の花園へは行けなかったものの、部活動の経験が人生の役に立ったと思います。豊里から佳景山駅までは自転車通勤。部活で遅くなり、暗い夜道を帰宅しました。後半の一年半は、気仙沼線が開通し、陸前豊里駅から石巻駅まで電車で通学が出来たことは、大変ありがたく思っています。 東日本大震災のときは、なかなか友達の家が確認できず心配したが、無事が確認できたときは一安心しました。しかし家などの打撃は言葉にならない悲惨な状況でした。新型コロナウイルスが終息したら、被災地で頑張っている友と酒でも飲みながら、昔話で笑いたいと思っています。 毎年春に上野で開催している豊里会では、来賓者から登米市などが被災地の後方支援をしていることを聞き、頼もしく感じました。豊里会も早く再開し、同郷の人たちと再会出来ることを願っています。

おらほの道の駅

道の駅林館「森の茶屋」



これからの季節はハタケシメジがおすすめ。炒めても煮込んでもシャキシャキした食感が歯応えが良く、茎が中空の構造なので味が染み込みやすくなっています。

今月は、道の駅林館「森の茶屋」の澁谷祐介店長にお話を伺いました。 Q道の駅の特徴などを教えてください 観光の休憩所としてだけでなく、日用品やこの店だけで必要な食材がそろえられるよう商品のリクエストにも応えています。日常の買い物現場として、多くの地元の人たちに支えられています。 Q人気商品やおすすめ商品などを教えてください これからの季節は山菜やキノコ類がおすすめです。特にハタケシメジは、腸内の免疫



春のおすすめは「海老と菜の花のスパゲッティ」

細胞に働きかける食物繊維のβ-グルカンを多く含み、免疫機能を高めることが期待できます。花粉症などのアレルギー症状に悩んでいる人にもおすすめです。 レストランでは、季節限定のメニューが人気です。春限定のメニューは、チキンコンソメベースの味付けにエビや



新鮮なキノコ類は栄養価が高く人気の商品

旬の野菜、キノコがたくさん入ったスパゲッティを用意しました。カレーも人気商品です。カレーそばやうどんとかレーライスのセットはカレー好きも納得のセットになっています。 【問い合わせ】道の駅林館「森の茶屋」 ☎0220(45)1218

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集! ●6月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、4月30日(金)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句 風光り旅立つ卒業生らの眩さよ 青空と桜満開卒業式 犬ふぐり続く野の道足軽し ベスト着せ仔犬を連る春シヨール 琴の音が弥生の風を散歩する 火伏祭終へれば里は春となる 仏前に生チヨコバレンタインの日

- 遠藤 光昌 (迫)
千葉真菜香 (迫)
及川 澄子 (東和)
小野寺和彦 (東和)
亀掛川たき子 (東和)
首藤 恭子 (東和)
須藤 捷子 (東和)

川柳 潮風やロープウェーより花椿 春光の庭にはほつほつ福寿草 啓蟄や入り日背にして子等の声 建国の記念日父が祖父に酌 畑仕事明日は何をと春の夕

- 千葉 勝保 (東和)
村上 君枝 (東和)
浅野喜代子 (中田)
小野寺 基 (中田)
千葉 信子 (中田)
加藤 了子 (南方)
佐藤 昭子 (南方)

応募総数27作品

情報場 Information

掲載している情報は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い変更になる場合があります。

催し

自主作品の販売会 よつ葉マーケットを開催

市は、障がいのある人が、生活訓練や作業活動(電子部品の下請け作業や自主作品の製作)を通じて社会とのつながりを保てるよう、障害者地域活動支援センターを運営しています。

障害者地域活動支援センターでは、月1回程度、自主作品の販売会を開催します。
【日時】4月28日(水)午前10時～午後2時
【場所】中央障害者地域活動支援センター(よつ葉ハウス)／登米市迫町佐沼字錦108／☎0220(22)02222
【よつ葉マーケット年間予定】5月28日(金)、6月28日(月)、



かごバッグやアクリルたわし、メモ帳、ビーズストラップなどを安価に販売しますので、ぜひお立ち寄りください。

7月28日(水)、8月27日(金)、9月28日(火)、10月28日(木)、11月29日(月)、12月20日(月)、令和4年1月28日(金)、2月28日(月)、3月28日(月) ※変更になる場合があります

夜間納税相談窓口 (4月・5月分)

【日時】4月22日(木) 5月27日(木) いずれも午後8時まで
【場所】総務部税務課(迫庁舎1階)
【問い合わせ】総務部税務課(徴収対策係) ☎0220(22)2169

募集

石巻高等技術専門校 各科の学生を募集

■溶接科
【訓練内容】各種溶接法やガス切断、鉄工製品の製作技能の習得
【対象者】就職に必要な技能を習得したい人
【訓練期間】7月15日(木)～12月23日(木)
【費用】テキスト代など3万5千円程度(受講料は無料)
【募集人数】5人
【募集期間】6月17日(木)
【面接日】6月24日(木)
【訓練内容】パソコンを活用した事務処理技能の習得
【対象者】ハローワークの受講指示、受講推薦や支援指示を受けた人
【訓練場所】JMTTC佐沼教室／登米市迫町佐沼字中江1-9-1
【訓練期間】7月16日(金)～10月15日(金)
【費用】テキスト代など1万2千円程度(受講料は無料)
【募集人数】15人
【募集期間】5月13日(木)～6月14日(月)

【面接日】6月24日(木)
■共通事項
【問い合わせ・面接場所】石巻高等技術専門校 ☎0225(22)1719
【市就職ガイダンス(説明会)参加企業を募集】
企業の概要説明など、就職希望者の就職活動を支援する企業を募集します。
【募集期間】5月14日(金)
【開催日】7月2日(金)
【場所】登米総合体育館
【問い合わせ】産業経済部地域ビジネス支援課(企業振興係) ☎0220(34)2706
※申し込みの詳細は、市公式ホームページをご覧ください

登米芭蕉祭俳句大会 俳句作品を募集します

■兼題の部(事前投句)
【募集】当季雑詠未発表句3句1組(1人何組でも可)
※席題の部(当日投句)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します
【応募方法】指定用紙または原稿用紙に住所・氏名・年齢・俳号・電話番号・当日の欠付を明記し、実行委員会へ提出
※氏名や読みにくい字には、

上下水道事業の 運営審議会委員を募集

振り仮名を振ってください
【投句料】1組千円(現金書留 小為替)
※応募句を全て記載した作品集を投句者全員に配付します
【応募期限】5月21日(金)当日消印有効
【表彰】▼大会長賞▼県知事賞▼県俳句協会賞など
【結果発表】受賞者には6月27日(日)以降郵送で通知
【応募先 問い合わせ】登米芭蕉祭俳句大会実行委員会(登米総合支所内)
〒987-0702 / 登米市登米町寺池目子待井381-1
☎0220(52)5051
FAX 0220(52)2118

【募集人数】2人
【内容】市長からの諮問に際し、上下水道事業に関する重要事項を審議(年4回程度)
【任期】委嘱の日から令和5年3月31日まで
【資格】①20歳以上で市内に住んでいる②上下水道事業に関心があり、意見を述べられる③市議会議員および市職員でない
【応募方法】住所、氏名、性別、電話番号、生年月日、職業、勤務先、経歴(職歴、学歴など)を参考となる事項を任意の様式に記入し、「上下水道事業につ

高校生絵画展IN登米市 2021作品を募集

いて、400字程度にまとめた作文と一緒に持参または郵送で提出してください
※応募書類は返却しません
【募集期間】5月21日(金)必着
【選考結果】応募者全員に通知
【応募先・問い合わせ】上下水道部経営総務課(経営管理係)
〒987-0702 / 登米市登米町寺池目子待井381-1
☎0220(52)3313

【応募期限】▼出品予定数連絡票 4月26日(月) ▼出品申込書および作品 5月7日(金)
【作品搬入】4月23日(金) 5月7日(金) 午前9時～午後5時に登米祝祭劇場へ持参してください
【展示場所】登米祝祭劇場(小ホール)
【展示期間】5月27日(木)～30日(日) / 午前9時30分～午後6時(30日は午後3時まで)
【入場料】無料
【表彰】▼大賞1点▼優秀賞2点▼優良賞4点程度▼奨励賞5点程度



前回の大賞作品

【対象者】県内および岩手県一関市内にある高校の在校生
【応募規定】①1年以内に制作(模写などを除く)した油彩(水彩画、日本画、版画など)、壁面に展示可能なもので未発表の作品②キャンバスサイズは10～30号、パネルサイズはB3～A1判③作品は額装を基本。奥行きは6センチ程度まで(額縁含む)
【出品点数】1人1点(作品の共同制作は不可)
【出品料】無料
【応募方法】出品予定数連絡票と出品申込書に必要事項を記入し、学校ごとに取りまとめ、郵送またはファクシミリで申し込みください

【表彰式】5月30日(日)午後3時30分 / 登米祝祭劇場(小ホール)
【申し込み問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域づくり推進係)
〒987-0511 / 登米市迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2173
FAX 0220(22)9164

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市営住宅	迫西大綱住宅B-2号(平成26年) (迫町佐沼字大綱199番地1) ▶募集戸数=1戸(3LDK) / 家賃月額=2万8200円 ～4万1900円 / 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)
市営住宅	豊里下町住宅2号(平成15年) (登米市豊里町町浦301番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK) / 家賃月額=2万1800円 ～3万2500円 / 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)
特定公共賃貸住宅	津山柳津四丁目特定公共賃貸住宅1号(平成15年)(津山町柳津字本町67番地) ▶募集戸数=1戸(1LDK) / 家賃月額=3万円～4万7000円 / 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)

【入居資格】住宅に困っている世帯
※市営住宅は低所得世帯であること、特定公共賃貸住宅は所得が一定基準額の範囲内であることなどの入居要件があります。重複しての申し込みはできません
※詳細は住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください
【申込期限】5月7日(金) ※期限厳守・郵送不可
【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係) ☎0220(34)2316

DAIYU HOME CENTER
8
野菜苗・季節の花苗
入荷しました

毎月8のつく日
8日 18日 28日 + 毎週土曜日
税抜3,000円以上お買上げで
ポイント5倍

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告
ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
●薬王堂さん
●JAみやぎさん
●中田総合体育館
●登米市立宝江小学校
ヨークタウン内
ダイユー・イト 登米中田店
宮城県登米市中田町石森字駒巻400
TEL 0220-23-9433
営業時間 あさ8時～よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報のために有料広告を掲載しています。

確かな技術でまかせて安心 広告
電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 **五島電機**
登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告
KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社
災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマナン ■インターネット
■コインランドリー清潔空間 ■なごみの家きらり ■機ケアサービス(機)

TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 5月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
15(土)	●夏川りみコンサートツアー2021 「あかり」 【開演】午後3時 【会場】大ホール 【入場料】全席指定6800円 ／小中学生2000円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

※5月の休館日は、10日、17日、24日、31日です

一登米祝祭劇場からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントが変更・中止となる場合があります。

【注意事項】

- ① クラスター対策のため、氏名・住所・連絡先の記載
 - ② 大・小ホールや練習室の利用人数の制限
 - ③ うがい、手洗い、消毒、マスク着用、換気の励行
- ※新型コロナウイルスの影響により、5月6日まで臨時休館しています。

点検・調整時は、必ずエンジン停止⑦道路走行に備え、反射板の装着⑧シートベルト・ヘルメットの着用徹底

【問い合わせ】産業経済部産業総務課(産業総務係)
☎ 0220(34)2716

■農繁期の路面清掃にご協力ください

農繁期には、トラクターなどから道路に土が落ちることがあります。道路に落ちた泥や土の塊は、通行の妨げになるだけでなく、交通事故の原因となる場合もあり、道路法で禁止行為として規定されて



います。やむを得ず道路を汚してしまつた場合は、速やかに清掃をお願いします。

「ひとり親家庭等就業支援講習会」を開催

県では、県内にお住まいのひとり親家庭の親や寡婦の人が自立した生活を送ることができるよう、必要な知識・技術の修得や資格を取得するための講習会を開催しています。

【講習名】パソコン講習ワード2016平日コース

【対象者】宮城県在住のひとり親家庭の親または寡婦で全日程受講できる人

【日時】6月23日(水)から8月20日(金)までの水曜および金曜(全16回)／午前9時～午後4時

【場所】宮城県母子・父子福祉センター

【定員】10人

※定員を超えた場合は選考

【費用】教材費、検定料として1万6千円程度(受講料は無料)

【託児】無料

※3歳から小学3年生まで

【申込期間】5月11日(火)～31日(月)必着

【申込方法】講習名、住所、氏名、電話番号、託児の有無(子どもの年齢)を記入し、郵送またはファクシミリで申し込みください

【申し込み・問い合わせ】宮城県母子福祉連合会(宮城県母

子・父子福祉センター内)
〒983-0832 / 仙台市宮城野区安養寺3-7-3
☎ 022(256)6512
☎ 022(256)6512

お知らせ

東日本大震災被災者の水道加入金などを減免

東日本大震災被災者の水道加入金、各種手数料の減免措置を、令和4年3月31日まで延長します。

【減免する手数料など】①水道加入金 ②給水装置工事設計審査手数料 ③給水装置工事しゅん工検査手数料 ④道路占用申請事務手数料

【対象者】東日本大震災で居住する住宅が、り災証明書により全壊、大規模半壊と判断され、市内に自らが居住する住宅を新築・改造する人

【減免割合】全額

【必要書類】給水装置工事申込書、り災証明書の写し

【申請期限】令和4年3月31日(木)

【申し込み】登米市水道お客様センターとよま

☎ 0120(531)167

【問い合わせ】上下水道部経営

ねんきんだより

国民年金保険料納付は納期限までに

令和3年4月分から令和4年3月分までの国民年金保険料は、月額1万6610円です。保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納められます。また、クレジットカードやインターネットなどを利用しての納付や便利でお得な口座振替もあります。

毎月の保険料の納付期限は、翌月の末日です。保険料の納め忘れがあると、不慮の事故が発生した際に、障害基礎

年金や遺族基礎年金が受けられない場合がありますので、必ず納付期限までに納めてください。

なお、所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、保険料が免除・猶予される制度があります。新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した場合は、令和2年2月以降の保険料の納付が免除・猶予される臨時特例措置も設けられていますので、各総合支所市民課窓口へご相談ください。

総務課(業務係)
☎ 0220(52)3311

安全作業でいのちを守る春の農作業安全運動展開

近年、農繁期には過信による操作ミスや慣れからくる農作業の油断が農作業中の重大事故につながっています。もう一度、家族や地域で農作業

安全の実践事項を確認し、正しい機械操作で、農作業事故をなくしましょう。

農作業の安全に向けた実践・確認項目

- ① 機械や道具の点検・整備
- ② 休憩が取れる無理のない作業
- ③ 農道を走行する際の路肩状況の確認
- ④ 農作業や機械作業に適した服装
- ⑤ 慎重なほ場への出入り、慎重なあぜ越え
- ⑥

皆さんが安全で快適に通行できるように、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】建設部建設総務課(道路河川管理係)
☎ 0220(34)2365

新たな米山駐在所で業務が開始されました

米山駐在所の老朽化に伴う建替工事が完了しました。新たな米山駐在所での業務は4月7日から開始していますのでお知らせします。

【問い合わせ】

▼佐沼警察署
☎ 0220(22)2121

▼米山駐在所
☎ 0220(55)2110

総合水防演習をライブ配信



北上川下流及び江合川・鳴瀬川
総合水防演習

日時 令和3年
5月30日
10:00~12:30

オンライン中継!
YOUTUBE LIVE
https://youtu.be/wiPg5Ly-C6c

【問い合わせ】北上川下流河川事務所
☎ 0225(95)0194

国土交通省東北地方整備局では、毎年5月の水防月間にあわせ、東北地方において水防演習を持ち回りで実施しています。本年度は大崎市江合川河川敷を会場に開催され、演習には、各自自治体の消防団が参加する予定です。

新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し開催されるため、現地での観覧はできませんが、演習の様子がYouTubeでライブ配信されますので、ぜひご覧ください。

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建 環境プロバイダ 本社 / 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営) / 〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号 広告 TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214 南三陸(営) / 〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社 / 〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

株式会社 **刺蒸くまがい** ...働く会社... 法事・宴会 広告

中田中学校通り **0220-34-5002**

葬儀からご法要までの一環システム
登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)
24時間受付 0220-34-4856(代表)

株式会社 **誠香社**

5月の納税

固定資産税・・・1期
国民健康保険税・・・1期
介護保険料・・・1期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 5月31日(月)

登米市の人口・世帯数

(令和3年3月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,572	9,634	10,150	19,784 (▲89)
登米	1,770	2,240	2,392	4,632 (▲18)
東和	2,297	2,927	3,012	5,939 (▲27)
中田	5,245	7,585	7,847	15,432 (▲56)
豊里	2,131	3,131	3,191	6,322 (▲9)
米山	2,838	4,352	4,426	8,778 (▲29)
石越	1,541	2,284	2,292	4,576 (▲27)
南方	2,745	4,090	4,258	8,348 (▲24)
津山	1,132	1,488	1,613	3,101 (▲21)
合計	27,271	37,731	39,181	76,912 (▲300)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(令和3年3月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R3	R2	増減数
人身事故発生件数	24件	45件	▲21件
死者数	0人	1人	▲1人
負傷者数	27人	44人	▲17人
物損事故発生件数	420件	286件	134件

※R3年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

大型連休が始まると、高速道路や長距離を運転する機会が多くなります。余裕を持った計画と安全運転で、楽しい思い出をつくりましょう。

3月の災害件数

	火災	救急	救助
令和3年累計	9件 (16件)	270件 (840件)	2件 (17件)
前年同月	9件	258件	0件

※空間放射線量の測定結果は、測定値が安定していることから4月号で掲載を終了しました。今後は市公式ホームページで確認ください

ハローワークはさま発行求人情報
ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

一人で抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

【日時】5月28日(金)午後1時～4時10分

【場所】迫にぎわいセンター
【担当】開発育子(司法書士)
【相談申し込み】
☎0220(58)2117

【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)
☎0220(58)2118

【相談料】無料
【申し込み・問い合わせ】仙台法務局民事行政部不動産登記部門地図整備・筆界特定室
☎022(225)5752

県北高速幹線道路工事に伴う交通規制にご協力ください

みやぎ県北高速幹線道路工事による橋梁上部の架設工事のため、下記の道路が夜間通行止めになります。工事中は通り抜けできませんので迂回路の通行をお願いします。

■ 通行止め箇所①

【日時】5月18日(火)～26日(水)
午後10時～午前6時
※期間中5日間程度

■ 通行止め箇所②

【日時】5月21日(金)～29日(土)
午後10時～午前6時
※期間中6日間程度

■ 通行止め箇所③

【日時】6月7日(月)～17日(木)
午後10時～午前6時
※期間中5日間程度

【問い合わせ】宮城県道路公社みやぎ県北高速幹線道路工事事務所 ☎0220(23)7066

屋外放送設備から流す時報が決まりました

市は、令和2年度から防災行政無線のエフエム化を進め、本年度中に運用を開始します。

現在、市内395局の屋外放送設備を「はつとエフエム」の電波が受信できるよう切り替え作業をしています。4月以降、切り替え作業が終了した町域から順次、エフエム化による運用を開始しており、市内全ての作業が終了するのは5月上旬を予定しています。

災害などの緊急情報については、これまでどおり市やはつとエフエムから放送します。行政情報や地域のイベント、健康のお知らせなど各町域ごとの情報は、はつとエフエムから放送します。

また、エフエム化に伴い、これまで各町ごとに異なっていた定時放送(行政情報)の放送時刻を市内統一し、午前7時と午後6時の1日2回の放送とします。これにより、屋外の放送と同時に緊急告知ラジオを自動起動し放送します。

時報(チャイム)の時刻、回数やメロディーも市内で統一。1日3回、朝は午前6時に「野ばら」、昼は正午に市民歌、

夕方午後5時に「家路」を放送します。なお、時報は緊急告知ラジオを自動起動させての放送はしません。

※防災行政無線のエフエム化の詳細は、広報とめ4月号または市公式ホームページをご覧ください

【問い合わせ】
▼整備に関すること⇒総務部総務課(防災係)
☎0220(22)2091
▼放送に関すること⇒まちづくり推進部まちづくり推進課(広報係)
☎0220(22)2147

不正大麻・ケシの発見したら連絡を

大麻や一部のケシは、法律で栽培が禁止されています。ケシは、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。しかし、植えてはいけないうる品種、園芸用と外観が似ている品種

大まな一部のケシは、法律で栽培が禁止されています。ケシは、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。しかし、植えてはいけないうる品種、園芸用と外観が似ている品種

相談

生活や仕事などの悩み相談に応じます

生活や仕事の悩み、心配事

【問い合わせ】そ・えーる登米 ☎0220(23)8610

移動相談日程・場所

開催日	時間	場所
5/11(火)	10:00～16:00	米川公民館
5/25(火)		豊里公民館
6/8(火)		石森ふれあいセンター
6/22(火)		米山公民館

土地の境界問題に関する無料相談会

土地の筆界(境界)をめぐる紛争解決の方法について、法務局職員や土地家屋調査士が相談に応じます。

【日時】毎月第3木曜日(祝日の場合は変更)、午後1時30分～4時30分

【場所】宮城県土地家屋調査士会館(仙台市青葉区二丁目18-3)

【申込方法】希望日の前週金曜日までに、電話で申し込み

Jアラートの緊急情報を即時に情報伝達試験を実施

全国瞬時警報システム(Jアラート=国から配信される情報伝達システム)から送られてくる武力攻撃などの緊急情報を、屋外放送設備などで確実に皆さんに伝えるため、情報伝達試験を実施します。

【日時】5月19日(水)午前11時ごろ
【問い合わせ】総務部総務課(防災係) ☎0220(22)2091

■ 試験内容

情報伝達手段	放送内容(訓練)
①コミュニティFM放送※ ▶屋外放送設備 ▶緊急告知ラジオ	コミュニティFM「はつとエフエム」と市内に設置している全ての屋外放送設備から、一斉に次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2021年5月19日0時0分0秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
②登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録している人のメールアドレスに、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名:即時音声合成メッセージ発表/本文:「登米市【防災】発表日時2021年5月19日0時0分0秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※緊急告知ラジオでも、同様の内容が放送されます。緊急情報のテストのため、音量調整つまみの設定にかかわらず最大音量で放送されます(放送中は音量調整ができません)
※実際に災害が発生している場合、もしくは発生しそうな場合には、試験を中止することがあります

「努力でつかんだ最高賞」



佐沼高等学校 1年

千葉美沙希

令和3年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
中学校の部 特選 農林水産大臣賞

「今回の作品はまだまだ手を加えたい箇所があったので、受賞と聞いたときは耳を疑いました」と振り返る千葉美沙希さん。「令和3年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール（2020年10月16日、審査）中学の部において、全国830校8684点もの応募の中から、当時石越中3年だった千葉が最高賞の特選・農林水産大臣賞を受賞した。

応募のきっかけは、美術の先生からコンクールを紹介されたこと。資料に目を通すと、募集しているコンクールが3つ並んでいた。全てのコンクールに応募したい気持ちはあったが、その時点で締め切りまでは残り1カ月半。短時間で3作品を仕上げることが必要があった。「絵には完成が見えぬ」と話す千葉は、完成まで何度も直し、色を重ね時間をかける制作スタイル。「間に合うだろうか」と幾度も自分に問いかけた。

中学では生徒会に所属しながら、剣道部では部長としてチームのまとめ役を務めた。剣道はスポ少にも所属していたため、毎日が忙しく過ぎ、自由な時間が限られる。美術の授業もいつも絵を描くわけではなく、更に昨年は楽しみにしていた運動会がチーム旗作成が中止。描く機会がまた一つ減り、フラストレーションが溜まっていた。「描きたい」と、強い思いを抱く千葉は心を決める。中学の集大成の作品にしようと、並行して趣旨も作風も異なる3作品の制作に

挑むことを選んだ。

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールは3つのコンクールの中で締め切りが最も遅く、仕上げたのは最後。2作品を仕上げたところには、残された時間はわずかだった。応募作は、苗木を育てることでの命の源である森林を親から子へ伝え、その循環が未来につながっていくことをテーマに制作。

作品は、植樹された苗木を母親の手が支え、子どもがそっと水をかける構図。苗木や親子の手は授業で習った切り絵で表現。母親の手は、実際に自分の母の手をなぞりぬくもりを写し出した。一番苦労したのは苗木の上から柔らかに降り注ぐ虹の光。目の細かな網をブラシでこするスパッタリングの手法を用いた。幅の異なる何色もの虹は、台紙の形を変え少しずつずらしながら塗り分けた。奥行きのある森は、本物の木をじっくり観察しリアルな木を描いた。そこに小さなスポンジで淡い緑を何度も重ね、少しずつ濃淡をつけるといった骨の折れる作業を続ける。絵の中心に視線を誘導するように、苗木を縁取る白い線が森の緑に映えるように仕上げた。

時間を置き、改めて見直してみると何か物足りなく感じた。「緑には赤が映えるはず」と考えた千葉は、最後にワンポイントとして、小さなテントウムシを苗木に乗せた。

千葉渾身の作品は審査員の高い評

価を得て、見事に最高の賞を受賞。他の2作品も、それぞれ県知事賞や県優良賞を受賞した。

絵を描くことが好きで、小さなころから数えきれないほど何冊ものスケッチブックに描き続けてきた。好きな世界観は、現実にはない空想の世界。過去の作品は、風景画でも静物画でも器用に描き分けてきた。苦手なのは、ポスターらしい強い色使いやべた塗りの絵。ポスターコンクールは本来得意分野ではないが、日頃からいろいろな写真を見てイメージを膨らませている。パーツごとに練ってきた数々の構想は、絵画制作の時に初めて一体化する。

「あるコンクールに向けてやってみたいアイデアがある」と話す千葉。頭の中では次のコンクールに向けた構図を描き始めている。



受賞作「育てよう緑の大地 つなげよう次の世代へ」



古川工業高等学校3年
渥美 圭太郎
 ATSUMI Keitaro
 (米山町中町)

令和2年度
 全国高等学校選抜自転車競技大会出場

NHK連続テレビ小説 「おかえりモネ」放送開始に向けて

「おかえりモネ」先行パネル展

とよま観光物産センター「遠山之里」では、ドラマの放送に先立ち、あらすじや登米市・気仙沼市でのロケ風景、ヒロインの永浦百音を演じる俳優の清原果耶さんのプロフィールなどが紹介するパネルが展示されています。
【会場】とよま観光物産センター「遠山之里」内
 登米市登米町寺池桜小路2
【営業時間】午前9時～午後5時



「おかえりモネ」5月17日放送開始
 NHKの連続テレビ小説104作品目に当たる「おかえりモネ」が、いよいよ5月17日から放送されます。
 「おかえりモネ」は、今生きる全ての人に捧げたい、現代ドラマ。本市と気仙沼市、東京都が舞台となり、「海の町」気仙沼に生まれ育ち、「森の町」登米で青春を送るヒロインが、気象予報という天気にとことん向き合う仕事を通じて、人々に幸せな「未来」を届けてゆく、希望の物語です。
 市では、放送に向けてのぼりやポスター、独自ロゴマークを制作し、市内の観光施設に設置するなど、市全体を盛り上げています。番組放送中もNHKと協力し、様々な企画を実施する予定です。

先行パネル展入場者 Interview

左から
 日野 沙南さん、心結さん、利枝さん
 石巻市蛇田



春休み最後の思い出づくりとして見に来ました。モネの同級生役を演じる永瀬廉さんは、親子で大ファンです。物語が展開していく中で、どういう役どころで登場するのか楽しみです。放送開始が待ち遠しいです。

パネル展を見て、いよいよ放送が始まるんだという思いです。登米町内でのロケの様子を見ていたので、ほかの観光スポットも登場するのか楽しみです。宮城県出身の人も出演するので応援しています。

左から塚本 きく子さん、登米町後小路／梁川 せつ子さん、登米町後小路／佐々木 美智子さん、登米町岡谷地



令和2年度全国高等学校選抜自転車競技大会(全国高等学校体育連盟主催)は、3月19日から22日まで開かれ、宮城県代表として古川工業高3年(出場時2年)の渥美圭太郎さんが男子ケイリンに出場した。
 日本生まれのケイリンは、柔道に続いて2番目にオリピック正式種目になった。最大7人の選手が約1500mの距離を走り、フィニッシュラインを通過した着順で順位が決まる。渥美が自転車競技を始めたのは高校生になってから。めきめきと頭角を現し、宮城県自転車競技新人大会では、200mフライングタイム・トライアル第1位をはじめ、複数種目で好成績を収め、総合3位を獲得。全国大会へ駒を進めた。自身初めての全国大会出場だが、古川工業は全国大会の常連校。「うれしさより安堵の方が大きかった」と白い歯をのぞかせる。
 渥美の武器は瞬発力。ここぞというところで一気に外から被せるように追い抜く「捲り」が得意の戦法。ケイリンはスプリント種目としては距離が長く、速さに加えて後半の粘りが求められる。渥美は、後半にスピードが落ちないように

持久力を付けるべく、全国大会に照準を合わせて誰にも負けないほど走り込んだ。迎えた予選、並び順は抽選により出走する6人の中で3番手に決まった。終盤で一気に抜く作戦の渥美にとって悪くない位置でレースが始まった。序盤、前を走る体格の良い選手に張り付き、風圧の壁から隠れ静かに周回を重ねた。冷静に追い越しを始めるタイミングをうかがう。レース中盤に差し掛かって6人の選手はお互いの出方を探り隊列は列のまま。渥美が捲りを仕掛けようとした直前、後続の選手が外側から並んで来た。ゴールはもう目の前。周囲を囲まれ動けないまま集団でフィニッシュラインを通過。結果は予選第5位。「もっと前でゴールできたはず」とレース運びを振り返る。
 思いがけない収穫もあった。渥美の前を走っていた選手が、その後のレースを勝ち進み優勝。全国レベルの選手との戦い方を肌で感じ、勝利への感触をつかむことが出来た。「もっと前に行けたはず。実力を出し切れなかった。この悔しさは、夏にリベンジしたい」渥美の視線はインターハイを捉えている。

ときめき人

Tokimeki bito

地域の歴史を後世へ



松葉老人クラブで編集委員を務めた皆さん。前列左が高橋善一さん、左から2番目が浅野稔会長。

36世帯のみの小さな集落で構成される南方町松葉行政区。そこで活動する南方町松葉老人クラブが、地域の歴史を後世に伝えたいと地名の由来や文化などを記した「探せ! おらほの宝物!」を作成した。

同冊子は、登米市社会福祉協議会の補助事業を活用し、2018年9月から作成を開始。松葉行政区に住み、南方町役場では文化財の事業を担当していたこともある高橋善一さんを中心に、地元住民が集まって編集に取り掛かった。

「ずっと昔の歴史は資料が少なく、詳しく調べることがとても大変だった」と編集の苦勞を振り返る浅野稔会長だが、「苦勞は多かったけれど、長く住みながらも知らなかった歴史、文化がたくさん

あることに気付かされた。自分たちにとっても地元のさまざまなことを知る良い機会になった」と目尻にしわを寄せた。

新型コロナにより活動できない期間がありながらも、約2年半の編集期間を経て今年2月に完成し、行政区内の毎戸へ配布。「方言のページを見ながら、孫との会話が盛り上がったよ」とクラブ会員の一人が声を弾ませた。

昔、河川の多かった松葉地区で、見張り番がそこにあつた大きな松の木の葉を敷物にし、魚の群れが来るのを見張っていた。「待つ場」と「松葉」の二つの意味が込められた地名。現在も地域のシンボルとしてそびえる大きな松の木のふもとは、松よりも大きな地元愛があふれている。

編集後記

▼4月から広報担当となり、若い衆の取材をしました。慣れない業務で緊張もありましたが、とても気さくな人で楽しく取材することができました。これから、よろしくお願ひします。(大立目)

▼スポーツや芸術の分野で、全国に挑戦した皆さんを取材。コロナ禍でのさまざまな制限の中、懸命に気を吐く気概に頭が下がります。今できることにしっかりと取り組む姿勢で、新年度に臨みます。(佐々木)

▼佐沼高の全国での活躍を取材。全国の舞台に立つほど一生懸命に頑張る選手たちは、競技以外でも礼儀正しく、人としてしっかりしている印象を受けました。夏の舞台でも、彼らの躍動を期待しています。(三浦)

▼4月から別部署へ異動となりました。思い返すと、あつという間の3年間。多くの人からお話を聞かせていただきました。取材などでお世話になった皆さん、本当にありがとうございました。(小野寺)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

